



# News Letter

ニュースレター

## Contents

### 活動報告

- 第12回男女共同参画推進セミナー実施報告
- ランチミーティング(2019年10月)実施報告
- オープンキャンパス(2019年11月)での一時託児実施報告

### Information

- ベビーシッター会社との法人契約に支援メニュー追加
- 一時託児室「せんたん」にスマートロック導入
- 教育研究各棟、図書館等の多目的トイレの機能強化
- 数字で見る男女共同参画

## 活動報告 2019年7月～11月

2019年10月4日

### 第12回男女共同参画推進セミナー 「データが描くこれからの男女共同参画」を開催しました

2019年10月4日(金)、物質創成科学領域と男女共同参画室との共催により物質創成科学棟大講義室において、セミナー「データが描くこれからの男女共同参画」を3名の学外講師を迎えて開催し、外部からの参加者も含め44名の出席がありました。セミナー終了後には、講師の方々と参加者との情報交換会を行いました。

上瀧恵里子氏(九州大学 男女共同参画推進室教授)は、「男女別論文業績分析から見えてきた課題—九州大学の事例を基に」と題して、教員公募の際に女性の候補者に積極的なアプライの機会を提供する、教員採用・養成システム(KASOKU Program)の取り組み、同システムにより雇用された女性教員の論文業績分析結果とライフイベント分析結果を報告されました。ご講演を通して、業績を定量的に評価することで昇格の遅れや他大学への転出を避ける努力が必要であること、テニュア教員として安心して出産・育児のできる環境が研究との両立を可能にすることを示されました。

三枝麻由美氏(名古屋大学 男女共同参画センター 准教授)は、「データから見る名古屋大学の男女共同参画の現状」と題して、名古屋大学に在籍する女性の承継教員比率や応募者比率の推移、工学研究科の在籍/採用比率等の課題についてご講演され、理学研究科において約10年間で在籍率が飛躍的に伸びたのは、分野に縛られない人事により女性の応募者数が増加したこと等に要因があるとされました。また、管理職比率の増大に向けた取り組みとして、2019年5月に教育研究評議会の委

員の2割を女性とする学内規程を定めたことをご紹介いただきました。

藤原綾乃氏(文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2調査研究グループ 主任研究官)は、「データ分析で見るアカデミア人材の多様化の現状と課題」と題して、教授昇進に影響を与える研究業績、社会的要素、経験的要素の分析結果(教授昇進確率が、女性は男性と比較して、人文社会系20%、理工系50%、医学・生物系30%低い等)、研究発表の空白期間が教授昇進に与える影響の分析結果(キャリア開始5年間に継続的に研究業績を積み上げること、キャリア開始20～30年の期間も成果を維持することが教授昇進に影響を与える等)についてご報告いただきました。

終了後のアンケートでは、多くの方(92.8%)に内容が有意義だったと回答いただき、「データとして現状を明らかにすることが状況を動かすのにとても重要だと感じた」「無意識のバイアスが働くことが興味深かった。データを示して、偏見を正す努力がいっそう大事だと思った」との感想が寄せられました。



2019年10月29日

### ランチミーティングを行いました

2019年10月29日(火)にランチミーティングを開催しました。今回は、データ駆動型サイエンス創造センターの武藤愛助教に「若手教員のライフプランについての提言」と題して、育児制度や学内規程等のもつ課題について話題提供をいただきました。若手ポストが任期制に移行しつつあるなか、既存の制度では出産可能年齢の研究者が育休を取れない現状に関して、中長期的課題と「いま私たちの大学ができること」について意見交換をし、充実した時間となりました。



2019年11月10日

### オープンキャンパスで親子スペース設置 教職員向け一時託児を実施しました

高山サイエンスタウンフェスティバルでは4年目の取り組みとなる、親子スペース(授乳・おむつ替え)を大学会館1階に設置しました。また、学内の一時託児室にて、教職員向けの無料託児も実施し、お預かりした子どもたちは、高山サイエンスプラザまでお散歩に行き、ミニ鉄道に乗ったりして楽しく過ごしました。



# Information

男女共同参画室は、利用者の活躍に支えられ、本学構成員の仕事と生活の両立を支援する各種制度の充実に、多角的に取り組んでいます。

NEWS  
01

## ベビーシッター会社との法人契約に支援メニュー追加

本学では、2018年2月よりベビーシッター会社(株式会社マザーネット)と法人契約を締結し、子ども1人あたり年間40時間まで、利用者負担1,100円(1時間あたり・税込)で利用できる経済的支援を行っています。2019年10月より、本支援への新たなメニューとして、産後休暇中から利用できる「産後ケア・家事ケア」を追加しました。

詳細は以下のURLをご覧ください。

[https://www.naist.jp/gender/contents/support/babysitter\\_houjin/](https://www.naist.jp/gender/contents/support/babysitter_houjin/)

NEWS  
02

## 一時託児室「せんたん」にスマートロック導入

2019年10月より、一時託児室「せんたん」の貸出手続きの簡略化およびセキュリティ強化のため、スマートロックを導入しました。

平日土日祝とも7:00~22:00までご利用いただけます。

詳細は以下のURLをご覧ください。

[https://www.naist.jp/gender/contents/support/child\\_care/](https://www.naist.jp/gender/contents/support/child_care/)



## 教育研究各棟、図書館等の多目的トイレの機能強化

乳幼児のいる教職員や学内利用者がトイレを安心して利用できるよう、教育研究各棟と図書館、ミレニアムホール計9箇所の多目的トイレにベビーチェアとベビーシートを設置しました。物理的条件よりベビーシートを設置できない箇所には、1階の男女トイレにおむつ交換台を設置しています。



おむつ交換台



多目的トイレのベビーチェアとベビーシート

2019年10月現在

数字で見る

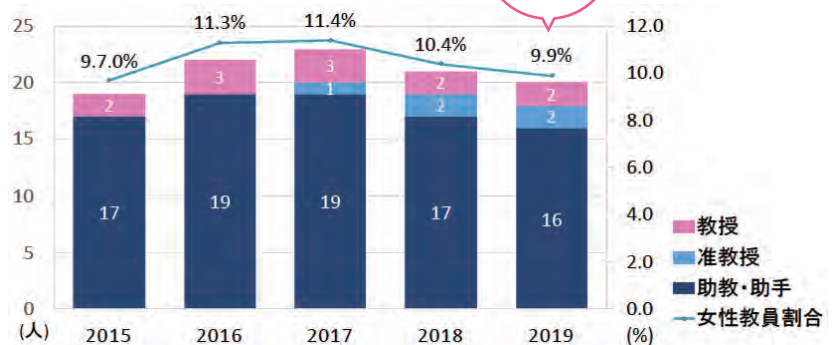
### 男女共同参画

#### 研究領域別の女性教員率

情報4.4%、バイオ13.7%、物質12.2%

#### 女子学生在籍率

24.3%



本学の女性教員率  
9.9%